

## 学校関係者評価 報告書

評価日時：令和4年3月7日（月）13:30～15:00

評価委員：

委員長 教育学講師 教育委員会特別支援教育スーパーバイザー

委員 病院 看護部長

委員 卒業生

委員 高校 進路指導部長

学校出席者：教育主事、実習調整者、カリキュラム担当者、学年主任

議事：1) 教育主事から以下の2点を説明

- ・学校重点目標に対する取り組み、今後の課題等の報告
- ・令和3年度自己点検・自己評価結果の報告

2) 今後の課題等の意見交換、検討

重点目標に対する取り組みと今後の課題：

重点目標1：国立病院機構および京都府の医療・看護を担う学生定員の確保と育成

取り組み：1) 学生募集活動

- ・京都府下および北部地域の高校訪問
- ・募集要項の発送地域の拡大
- ・公募推薦入試の評定見直し
- ・毎月の学校ホームページの更新

2) 卒業・就職への学生支援

- ・定期的な面接および学習状況や生活状況に合わせた随時面接
- ・カウンセリングの利用推進
- ・NHOの就職説明会の実施と実習施設との連携
- ・京都府看護師修学資金の活用

3) 国家試験合格率100%に向けた学習支援の実施

- ・1年次から Google classroom を活用した課題学習
- ・学生の状況に応じた個別指導
- ・3年次は国家試験対策や模擬試験の計画的な実施

課題：・個々の学生状況に応じた学習支援の継続と卒業率の維持

- ・早期からの就職支援
- ・1年次からの国家試験対策の継続

重点目標 2：看護教育の質向上

取り組み：1) 到達度を見据えたカリキュラム運用と 2022 年度改正カリキュラム準備

- ・ 2022 年度カリキュラムの検討、申請
  - ・ ICT を活用した講義内容の形成評価の実施
  - ・ ハイブリッドシミュレーターを活用した演習強化
  - ・ OSCE や学生相互チェック、ICT を活用した看護技術力強化
- 2) 学生の個々に応じた実習指導の充実に向けた臨床との連携強化
- ・ 臨地実習評価にルーブリックを導入
  - ・ 実習指導案の作成、見直し
  - ・ 実習指導者研修を開催し実習指導者を育成
- 3) 教員の専門領域のキャリアアップ
- ・ 学会発表 4 題
  - ・ 新規看護研究の取り組み 4 題
  - ・ 教員の実務研修の実施

課題：・次年度からの新カリキュラムが適切に運用できるよう準備を整える。

重点目標 3：教員の育成と確保

取り組み：1) 学生と教員がともに学ぶ職場環境づくり

- ・ ICT を活用した情報発信、報告体制の充実
  - ・ Web 面談を活用し学生プライバシーへの配慮
- 2) 教員全体で考え取り組む業務計画の調整
- ・ 教務計画に基づいた計画的に業務進行
  - ・ 超過勤務の削減
  - ・ ICT を活用した業務改善
- 3) インターンシップの効果的な運用
- ・ 計画したが、今年度は参加なし

課題：・インターンシップのPRを強化